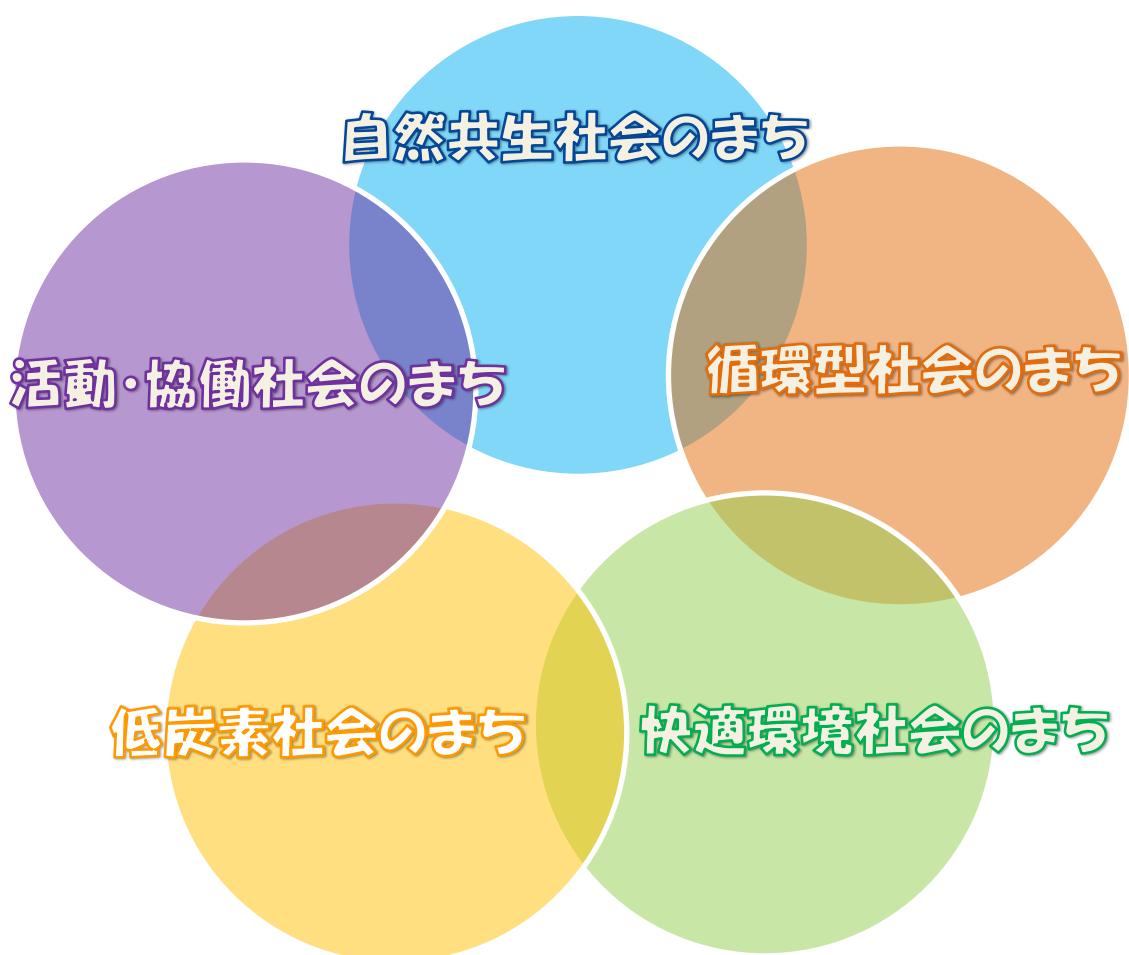


令和4年度

富良野市環境白書

～ふらのの魅力を支える環境を守り・活かすまちをめざして～



富 良 野 市

【資料 2】

富良野市環境基本計画を進めるにあたって

計画の取組を進めるためには、現在、環境がどのような状態にあるのかを知ることが大切です。

そのため、計画では、環境の状況を知るための「ものさし」となる環境指標や、各環境施策の数値目標を設定し、定期的にその達成状況や変化を把握することにより計画を効果的に進めます。

この「富良野市環境白書」では、数値目標に対する達成度合いや各年度の取り組み状況を記載しました。

また、この環境指標・数値目標については、計画の進捗段階において必要に応じて見直しや追加をしていきます。

目 次

基本目標1 自然共生社会のまち

①持続可能な農地の保全と活用	1
②森林の保全と育成	2
③河川環境の保全	2
④野生動物との共生と保護活動の推進	3
⑤自然環境資源の有効活用	3

基本目標2 循環型社会のまち

⑥ごみの減量化・リサイクル対策の継続的な推進	4
⑦ごみの適正処理とストックの有効活用の推進	4

基本目標3 快適環境社会のまち

⑧魅力ある農村景観の保全と都市景観の形成	5
⑨良好な生活環境の維持	6
⑩有害化学物質への対応	9

基本目標4 脱炭素社会のまち

⑪地球温暖化防止策の推進と実践	10
⑫資源・エネルギーの有効利用と実践	12
⑬気候変動への適応策の推進	13

基本目標5 活動・協働社会のまち

⑭市民、事業者、市の協働による自主的な活動の推進	14
⑮幅広い世代への環境教育・環境学習の推進	15
⑯環境情報の共有化	16
⑰広域的ネットワークの構築	16

自然共生社会のまち

①持続可能な農地の保全と活用

本市では、持続可能な農業の実現のために、農業者の様々な取組や、農地周辺の草刈りや緑化などの環境保全活動を支援しています。また、メイドインフラノ事業やふらの未来農業 EXPO 等のイベントを行い、6次化など経営の多角化を進めています。

市内の GAP^{*}認証を受けている農場件数

11 農場(目標値:R12年度 23 農場)

	R1	R2	R3
GAP 認証 農場件数	20	20	11

(資料) 農林課より

食の安全安心等に関する研修会受講者数

212 名(目標値:R5年度 500 名)

	R1	R2	R3
研修会 受講者数	207	171	212

(資料) 農林課より

GAP (Good Agricultural Practice) は「農業生産工程管理」「良い農業のやり方」等と訳されており、農場での数多くの作業や生産環境のうち安全を確保するためのポイントをまとめたもので、生産者はポイント(基準表)に基づいて作業を行います。従来の「結果管理に基づく品質保証」に対して「生産工程管理に基づく品質保証」であり、安全を確保する様々な対策を講じることにより危険性を最小限にする予防型の取組みです。

GAPに取り組むメリットとして以下の効果があげられ、富良野市では特に第三者認証による GAP の普及を進めています。

- ①的確な安全管理～危害要因の排除、農産物の安全性の確保
- ②適正な栽培管理～農産物の品質向上
- ③農作業の効率化～農業経営の改善
- ④リスク管理～問題発生時の原因の特定と事後の証明が可能



◆令和3年度の具体的な取組み

- ・農村の多面的機能の維持増進に向け、地域共同による維持管理及び農村環境の資源向上活動を支援（6地区）
- ・環境保全型農業直接支払交付金事業の取組実施者 15名
- ・中山間地域等直接支払交付金事業にて地域の魅力発信事業の実施 1件
- ・メイド・イン・フラノ認定事業^{*}（認定→13社、61商品）

MADE IN FURANO とは ~市が地元食材にこだわった加工品の独自認定制度~

豊かな農産物とこだわりの飲食店、観光地ならではの加工品が揃うここ富良野で、もっとたくさんの、美味しい『MADE IN FURANO（富良野産）』を味わってもらいたい…。食に関わるすべての人の思いをひとつにすることを目的に、平成28年度よりスタートした取組みが『MADE IN FURANO』です。食の原点である畑から、お客様に提供するサービスの場までをひとつなぎとし、自慢の味にストーリーを添えて、味わうすべてのお客様へ本当に美味しい富良野を届けます。

自然共生社会のまち

②森林の保全と育成

本市の70%以上は森林であり、その内訳は、国有林が36%、公有林が2%、私有林が62%となっています。市有林については造林・除間伐・下刈を実施しているほか、公有林・私有林の造林・除間伐・下刈に対して助成を行っています。

市有林面積

836ha（目標値：R12年度 840ha）

	H30	R1	R2	R3
市有林 面積 (ha)	837	837	836	836

(資料) 農林課より ※森林統合クラウドシステム



	R3
伐採跡地 未立木地面積 (ha)	235.5

(資料) 農林課より

◆令和3年度の具体的な取組み

- 富良野市森林整備計画に基づき、計画的な森林整備を推進
市有林／間伐 (23.85ha)、下刈り (18.65ha) の実施。
民有林／人工造林 (38.83ha)、除間伐 (36.93ha)、下刈り (122.83ha)への助成
- 担い手対策として14名に対して助成
※事業主に対し、作業員の就業日数に応じて福利厚生に係る経費を助成
※森林作業員に対し、作業員本人と事業主が積み立てた掛け金に、就業日数に応じ奨励金を交付
- 北海道と連携し、アスベスト鉱山跡地を確認

③河川環境の保全

本市は、水道水源として利用される空知川水系の上流域に位置しており、近自然工法による河川整備の実施や、富良野市道路河川愛護会による河川の草刈り等を実施し、良好な河川環境の保全と維持に努めています。

◆令和3年度の具体的な取組み

- 主要河川水質調査の実施
- 水洗化促進の市HP更新、環境展で汚水処理PR
- ごみが散見されるエリアへのポイ捨て防止のぼりの設置
- 空知川水系2級河川（5河川）の草刈りの実施（富良野市道路河川愛護会）
- 河岸洗堀防止を目的とした護岸修繕（挾沢川、丂沢川）



自然共生社会のまち

④野生生物との共生と保護活動の推進

本市では、野生鳥獣及び外来生物による農作物被害等が増加しており、その対策として捕獲器の設置等を実施しています。また、市民への自然保護の啓発活動として、オオハンゴンソウの防除活動などを実施しています。

野生鳥獣による被害面積

580ha(目標値:R3年度 258ha)

	H30	R1	R2	R3
被害面積 (ha)	433	445	569	580

(資料) 農林課より

野生鳥獣による被害額

164,223 千円

(目標値:R3年度 80,900 千円)

	H30	R1	R2	R3
被害額(千円)	159,414	113,811	163,911	164,223

(資料) 農林課より

◆令和3年度の具体的な取組み

- 富良野市鳥獣被害対策実施隊等による駆除活動の実施
ヒグマ 21頭、エゾシカ 822頭、アライグマ 203頭を捕獲
- 捕獲に対し交付金の支給、狩猟免許取得への助成を実施
- エゾシカライトセンサス調査の実施（生息動向調査を猟友会と協力し実施）
- アライグマ対策に関するセミナーの開始（農業者・市民を対象とした対策の啓発）
- 特定外来生物オオハンゴンソウの防除活動（2回 31名参加）

⑤自然環境資源の有効活用

本市では、登山コースの整備修繕や市民を対象とした環境に関する体験活動、農村景観を適切に保全する取組みを実施しています。

◆令和3年度の具体的な取組み

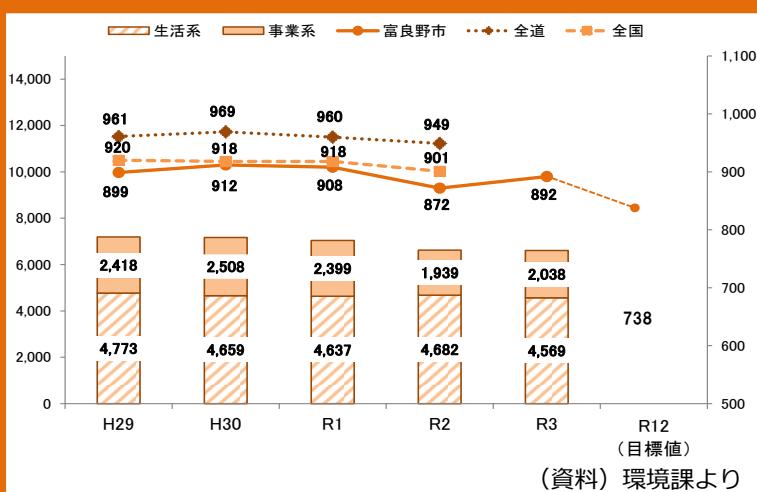
- 富良野の自然に親しむ集いの開催（計5回 のべ69名参加）
 - ①北海道の蝶王「オオイチモンジに会いに行こう」
 - ②ヘイケボタル観察会
 - ③アンモナイトをさがせ！化石観察会
 - ④変形菌ってなあに？
 - ⑤鳥沼でニジマスの産卵を見てみよう
- 富良野西岳登山会の開催
- 富良野市景観審議会の開催
- 中山間地域等直接支払交付金事業を活用し、地域共同活動実施（取組面積 2,000.5ha）

循環型社会のまち

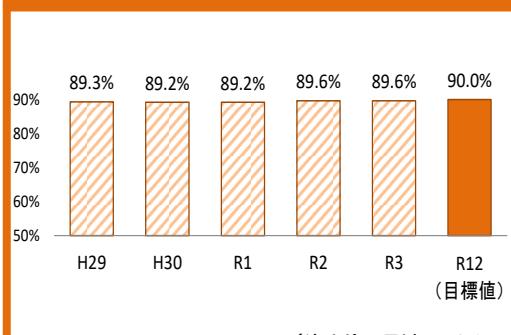
⑥ごみの減量化・リサイクル対策の継続的な推進

本市では、ごみの広域分担処理を実施しており、廃棄物処理・資源循環システム（固形燃料化、有機肥料化等）によって再資源化率が非常に高く、約90%で推移しています。市民1人1日あたりの排出量は、北海道平均や全国平均よりも低い状態を維持しています。

1人1日あたりのごみ排出量 892g/人・日
(目標値:R12年度 738g/人・日)



ごみの資源化率 89.6%
(目標値:R12年度 90.0%)



◆令和3年度の具体的な取組み

- ふらの環境展開催（10月1日～10月2日：参加団体8団体）※パネル展示のみ
- リサイクルマーケット（月2回開催：計353名来場 販売枚数1,575枚）
- 廃棄物の処理及びリサイクルの概要の作成、広報を通じてごみ分別のQ&A等を周知

⑦ごみの適正処理とストックの有効活用の推進

本市では、不法投棄の監視パトロールを行い、防止に努めています。また、既存のインフラ・公共施設の有効活用を進めています。

不法投棄の件数 29件
(目標値:R12年度 12件)

	H30	R1	R2	R3
不法投棄件数	25	45	42	29

(資料) 環境課より

◆令和3年度の具体的な取組み

- 不法投棄パトロールの実施
- 市民に対し、広報ふらの・分別アプリ等を活用してごみの適正処理について啓発の実施
- 地域会館への発電機や暖房機等防災資機材の整備
(整備した自主防災組織数：5団体)

快適環境社会のまち

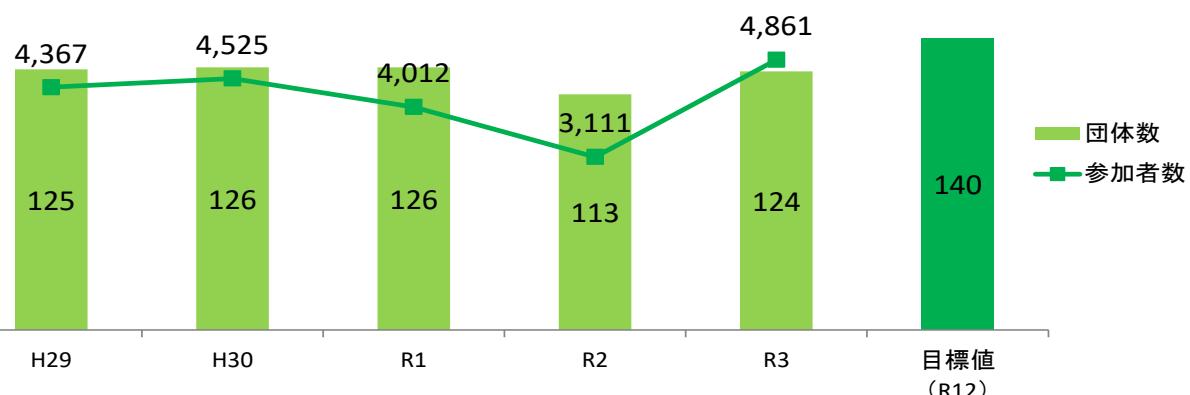
⑧魅力ある農村景観の保全と 都市景観の形成

本市では、森林と一体となった景観・環境を保全するために、平成29年に都市計画法に基づく景観地区に北の峰地区を指定しています。

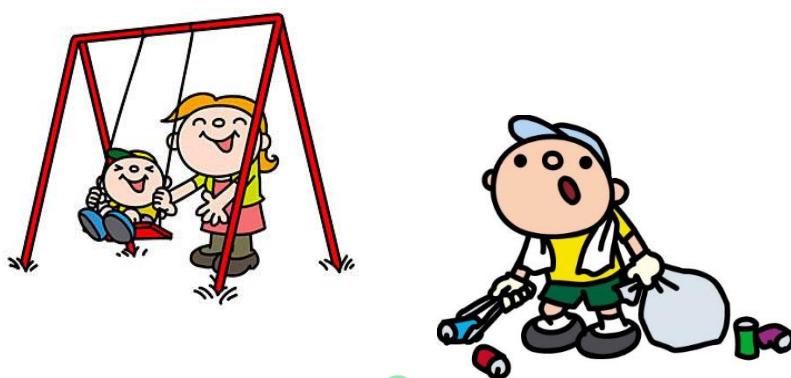
また、令和2年8月に農業と観光の調和のとれた景観形成をめざした「富良野市景観条例」を施行し、この条例に基づき令和2年11月に「富良野市景観計画」を施行、取組みを進めています。

そのほか、地域の景観を良好に保つため、春・秋の環境美化運動など、地域の美化活動を定期的に行ってています。

春秋の環境美化運動の参加団体数 124団体 4,861名



※春・秋の環境美化運動以外にも各種団体による美化活動が実施されています。



公園遊戯施設 127 基
(目標値:R12 年度 154 基)

	R1	R2	R3
施設更新数(基)	82	103	127

(資料) 都市施設課より

◆令和3年度の具体的な取組み

- ・富良野市景観審議会の開催
- ・中山間地域等直接支払交付金事業を活用し、地域共同活動実施（取組面積 2,000.5ha）
- ・春・秋に環境美化運動を実施（124 団体、4,861 名参加）
- ・各種団体による美化活動の実施（美化活動に対してごみ袋等の支援）
- ・不法投棄パトロールの実施
- ・公園施設長寿命化改修工事の実施（8 公園）

快適環境社会のまち

⑨良好な生活環境の維持

本市では、河川等の公共用水域や地下水の水質を適切に維持するため、排水による汚染負荷を低減するための排水対策などを行っています。

また、市内に自然が多く、大気汚染源となる工場・事業場や自動車等が少ないとことから、良好な大気環境が維持されています。

自動車騒音常時監視調査も実施しており、生活環境に関する相談、苦情等があれば、関係部署と協力し対処を行っています。

水質汚濁の代表的な指標であるBODは、環境基準点で基準内

■BOD※の環境基準適合状況

河川名	環境基準点	調査結果							環境基準 (mg/l)	
		前回			今回					
		測定日	天候	水温(℃)	BOD(mg/l)	測定日	天候	水温(℃)	BOD(mg/l)	
勇振川	勇振川橋	R1.7.30	曇り	20.4	1.0	R3.9.7	晴れ	17.1	0.6	—
西達布川	古潭橋			22.0	0.9			17.3	0.7	1.0
	おもと橋			18.5	0.7			15.4	0.6	1.0
無頭川	学田橋			22.2	2.7			18.5	1.1	—
ベペライ川	中央橋			20.1	0.8			13.1	1.6	—
富良野川	シャトーふらの橋			21.0	1.1			15.2	0.9	—
北2線川	水車川橋			24.2	1.5			18.1	0.0	—
基線川	市道北の峰5線との交差			21.9	1.8			15.9	0.8	—
北1号川	新光橋			14.8	1.1			14.9	1.0	—
空知川	富良野大橋	H30.9.19	晴れ	14.7	0.8	R2.7.20	晴れ	21.3	0.8	2.0
	布部大橋			16.0	0.7			21.9	1.1	2.0
	平和橋			15.5	0.7			24.0	1.1	2.0
	山部橋			15.1	0.7			24.5	1.1	2.0
布部川	布部川大橋			12.5	0.6			20.1	0.8	—
白鳥川	白鳥橋			11.1	0.6			15.4	0.9	—
布礼別川	中島6線橋			13.1	0.5			20.7	1.3	—
八線川	八線橋			15.0	1.1			21.5	1.2	—

(資料) 主要河川水質調査より

※空知川、西達布川のみ環境基準値が設定されています。

※BOD（生物化学的酸素要求量）とは、微生物が水中の有機物を生物学的に酸化・分解するために必要な酸素量のことです。数値が高くなるほど汚濁していることを示します。



快適環境社会のまち

⑨良好な生活環境の維持

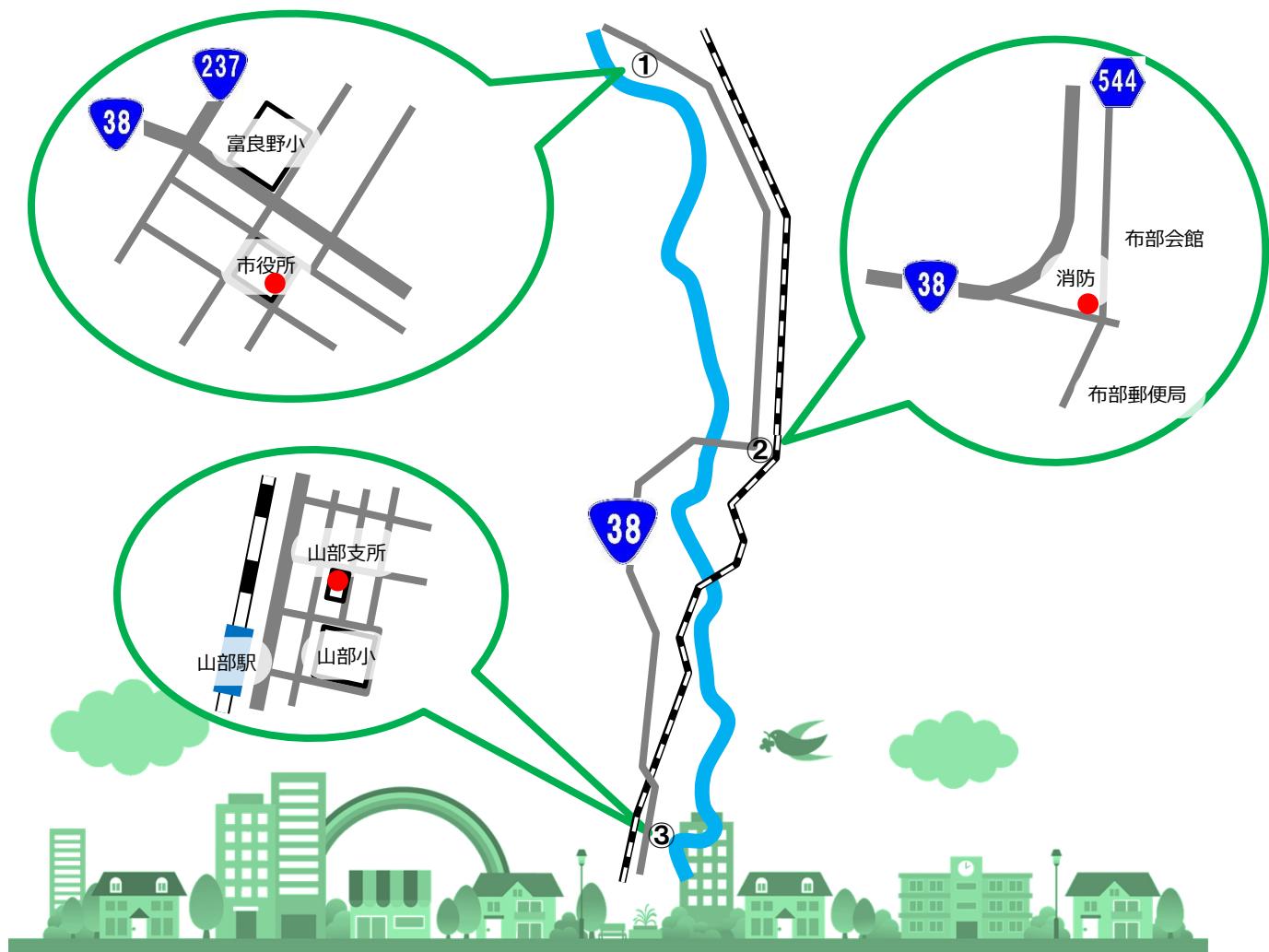
大気環境測定によるアスベスト（石綿）濃度は
全ての測定地点で問題なし

測定場所	石綿繊維数濃度幾何平均濃度 (本/ℓ)
①富良野市役所	0.1 未満
②布部消防付近	0.1 未満
③山部支所付近	0.1 未満

※環境基準値はありませんが、大気汚染防止法における、敷地境界線の濃度は 10 本/ℓ に定められています。
※この方法による測定の定量下限は 0.1 本/ℓ です。

◆令和3年度の具体的な取組み

- ・車に依存しない生活を実践するため、道路改良舗装工事による車道、歩道の整備（9路線）
- ・北海道と連携、アスベスト鉱山跡地確認
- ・大気環境測定調査を実施
- ・スパイクタイヤ等装着率調査の実施



快適環境社会のまち

⑨良好な生活環境の維持

自動車騒音の実測値は全ての観測地点で **環境基準値以内**

調査年	路線名	評価区間 の始点	評価区間 の終点	調査点	実測値 (dB)	環境基準値 (dB)	
H29	一般国道 38号線	新富町エーコープ フォーレスト店 富良野市場付近交差点	緑町3番(公営住宅) 緑町9番付近	未広町8番15号 大塩畠店付近	66 58	昼間時間帯 夜間時間帯	70 65
	一般国道 237号線	新富町エーコープ フォーレスト店 富良野市場付近交差点	花園町 花園橋前	本町12番28号 北炭販売富良野 営業所付近	65	昼間時間帯	70
					57	夜間時間帯	65
	H30	一般国道 38号線	学田三区 学田ご線橋付近	新富町エーコープ フォーレスト店 富良野市場付近交差点	67 60	昼間時間帯 夜間時間帯	70 65
					62	昼間時間帯	70
	道道 北の峰線 800号線	北野峰19番 北の峰ターミナル 交差点付近	北の峰35番 北の峰セルフ給油所 交差点付近	北の峰町32番 北の峰児童館 交差点付近	57	夜間時間帯	65
					68 60	昼間時間帯 夜間時間帯	70 65
R1	一般国道 38号線	緑町3番(公営住宅) 9番付近	字西扇山 旭川開発建設部 富良野河川事業所付近	緑町10番 アグリランド付近	64 60	昼間時間帯 夜間時間帯	70 65
	道道 山部北の峰線 985号線	未広町7番 ふらの五条大橋入口	未広町8番 フラン・マルシェ付近 交差点	未広町9番 ワタテクノ付近	64 56	昼間時間帯 夜間時間帯	70 65
					61 46	昼間時間帯 夜間時間帯	70 65
	R2	道道 奈江富良野線 759号線	北斗町13番 シャトーふらの橋付近	桂木町3番 富良野西中学校 交差点付近	64 50	昼間時間帯 夜間時間帯	70 65
					64 50	昼間時間帯 夜間時間帯	70 65
	市道 相生通線	日の出町4番 富良野駅前交差点付近	桂木町3番 富良野西中学校 交差点付近	朝日町9番 藤田サイクル付近	59	昼間時間帯	70
					48	夜間時間帯	65

自動車騒音調査は平成24年度から市で実施しています。8路線を5年かけて調査します。

◆令和3年度の具体的な取組み

- 歩行者や自転車利用者が安全で安心して通行できるまちづくりの実施
 - 道路改良舗装工事による車道、歩道の整備（9路線）
 - 市道橋長寿命化事業による車道の整備（2路線）
- 自動車騒音調査を実施



快適環境社会のまち

⑨良好な生活環境の維持

汚水処理人口普及率 91.2%
(目標値:R12年度 92.0%)

	R1	R2	R3
普及率 (%)	89.9	90.3	91.2

(資料) 上下水道課より

◆令和3年度の具体的な取組み

- ・水洗化促進の市HP更新
- ・環境展での汚水処理PR
- ・HP・広報による区域外での合併浄化槽の設置及び補助のPR
- ・水道施設の水位観測・水質検査の実施
- ・排水対策について、工場等への法令遵守の徹底を北海道と連携して啓発

⑩有害化学物質への対応

市内にアスベストの鉱山跡地があるため、北海道と連携して大気環境の測定を実施しています。

大気環境測定によるアスベスト（石綿）濃度は
全ての測定地点で問題なし

測定場所	石綿繊維数濃度幾何平均濃度 (本/ℓ)
①富良野市役所	0.1未満
②布部消防付近	0.1未満
③山部支所付近	0.1未満

※環境基準値はありませんが、大気汚染防止法における、敷地境界線の濃度は10本/ℓに定められています。

※この方法による測定の定量下限は0.1本/ℓです。

◆令和3年度の具体的な取組み

- ・北海道と連携、アスベスト鉱山跡地確認
- ・大気環境測定調査を実施



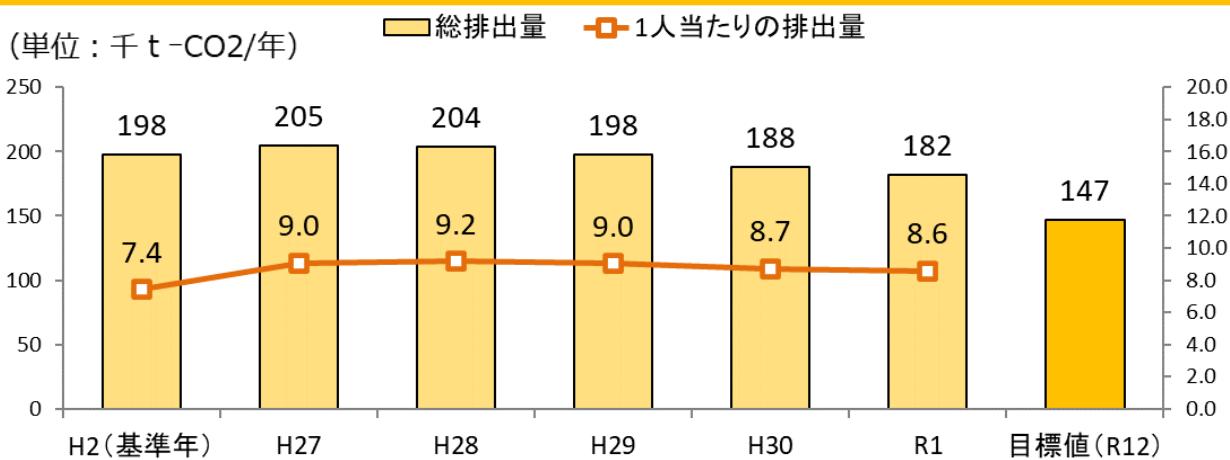
脱炭素社会のまち

⑪地球温暖化防止策の推進と実践

本市では、令和3年4月に「ゼロカーボンシティ」を表明しました。

温室効果ガス排出量の削減を進めるため、地域のエネルギーを利用できる太陽光発電設備や木質バイオマストーブの購入補助を実施しています。また、都市機能のまちなかへの集約や、コミュニティカーの運行などによる交通手段の確保も行っています。

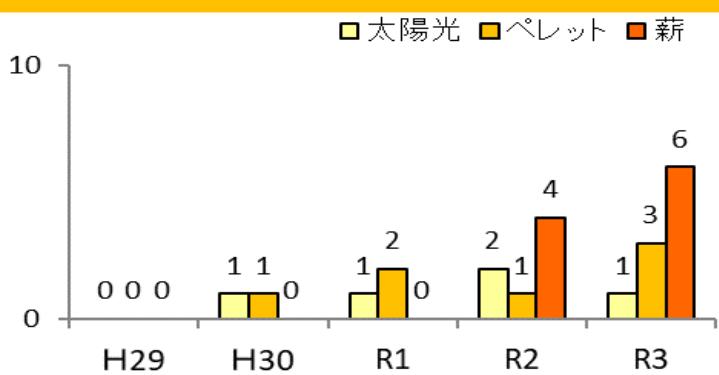
富良野市のCO₂総排出量は 前年度から約3%減少



(資料) 環境省 部門別CO₂排出量の現況推計より（直近の公表がR1）

※毎年修正等が行われているため昨年の環境白書と数値が変更になる場合があります。

再生可能エネルギー導入 補助事業件数 10件



※薪ストーブの導入補助事業は令和2年度より開始しています。

再生可能エネルギー導入補助 事業によるCO₂削減量 22,573 kg-CO₂/年

年月	太陽光	ペレット	薪
R3.4	1179	311	370
R3.5	1028	0	165
R3.6	1455	0	12
R3.7	1399	0	0
R3.8	1037	0	0
R3.9	1001	0	16
R3.10	507	27	215
R3.11	274	68	920
R3.12	210	600	1773
R4.1	228	856	2390
R4.2	368	844	2455
R4.3	689	515	1661
計	9,375	3,221	9,977

令和元年度～令和3年度補助事業者の利用状況報告を基に作成しています。

◆令和3年度の具体的な取組み

- ・ペレットストーブ導入補助内容 3件 450千円
- ・薪ストーブ導入補助内容 6件 782千円
- ・太陽光発電設備導入補助内容 1件 91千円

脱炭素社会のまち

⑪地球温暖化防止策の推進と実践

◆令和3年度の具体的な取組み

- ・富良野市地域公共交通計画の策定（持続可能な地域公共交通体系について）
- ・富良野市地区再生計画の策定（公民連携によるコンパクトシティに向けた、整備方針やコンセプト等について）
- ・富良野市立地適正化計画の策定（市街地における人口密度の低下などさまざまな課題への対応について）
- ・再生可能エネルギーのポテンシャル調査の実施（本市資源を活用した再エネ導入による二酸化炭素排出量の削減効果の可能性調査）
- ・コミュニティカー利用者数 のべ 2,106 名（山部・東山・島の下）
- ・市有林・民有林の整備
市有林／間伐（23.85ha）、下刈り（18.65ha）の実施
民有林／人工造林（38.83ha）、間伐（36.93ha）、下刈り（122.83ha）への助成
- ・広報ふらの等を活用したゴミ減量化の啓発活動

富良野市役所 新市庁舎における新たな取組みについて

井水熱利用システムの導入

～新エネルギー設備導入支援事業 設備等導入概要～

事業の目的

新市庁舎は庁舎機能と文化会館機能を合わせた複合施設とし、災害時の防災拠点と市民の緊急避難場所となります。平成 30 年に発生した北海道胆振東部地震による大停電の経験から、台風や地震などの災害のみならず、災害に伴う停電に対しても対応できるよう、非常用発電機を備え、再生可能エネルギーを積極的に利用することで、平時も災害時においてもエネルギーの消費を抑えた空調システムを構築し、脱炭素社会の実現を目指します。

事業の概要

空調の一部に井水（地中）熱利用システムを導入し、庁舎内の冷暖房を行います。地中熱源として地下水をくみ上げて、地下水が持つ熱エネルギーを連続的に利用する方法で、その他空冷式ヒートポンプ、温水機の熱を組合せた空調システムとなっており、平時の熱利用は井水熱ヒートポンプを優先して運用し、二酸化炭素の排出を削減します。

補助事業名

【環境省】

令和 2 年度二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金
【北海道】

新エネルギー設備導入支援事業

事業名：富良野市新庁舎建設地中熱設備工事



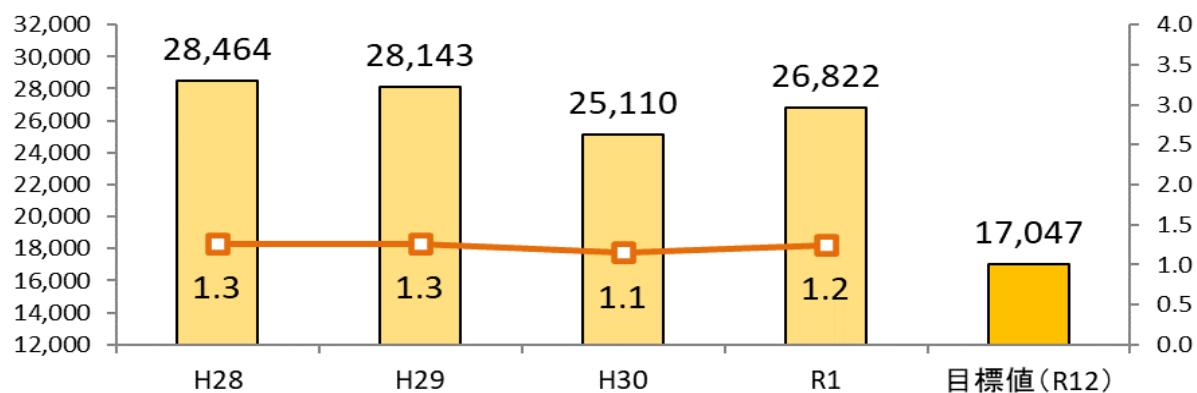
脱炭素社会のまち

⑫資源・エネルギーの有効利用と実践

本市では、再生可能エネルギーの利用促進のために、白鳥川への小水力発電の設置や、衛生用品の固体燃料化の取組みなどを進めています。また、市民向けの啓発策として、うちエコ診断士^{*}を家庭に派遣し、ライフスタイルに合わせた効果的な省エネ対策や提案の実施をしています。

富良野市の灯油由来のCO₂排出量は 前年度から約7%増

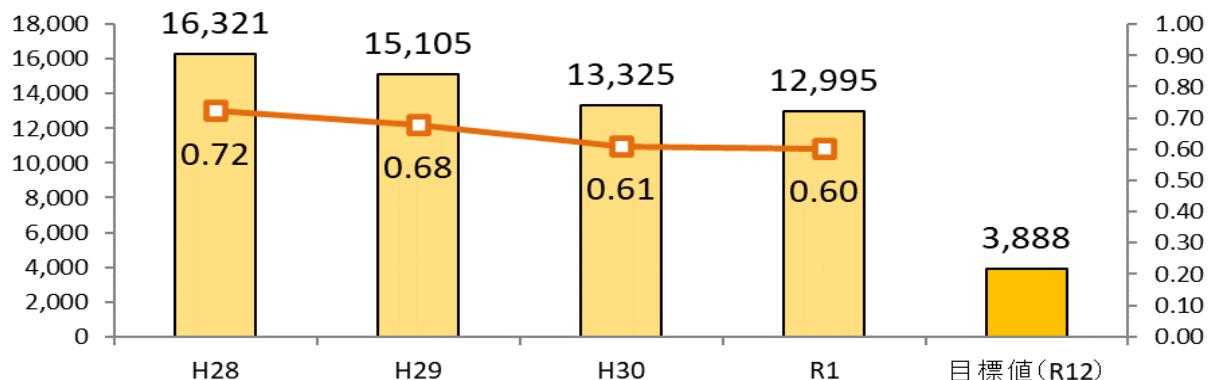
(単位: t-CO₂/年) ■排出量 □1人当たりの排出量



*地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）に基づき、部門別に按分して再計算しています。基礎数値については毎年見直しがされています。

富良野市の重油由来のCO₂排出量は 前年度から約2%減

(単位: t-CO₂/年) ■排出量 □1人当たりの排出量



*地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）に基づき、部門別に按分して再計算しています。基礎数値については毎年見直しがされています。

◆令和3年度の具体的な取組み

- ・市HP等を活用し、北海道と連携した省エネに資する情報の提供
- ・小水力発電（白鳥川）の実証試験と見学対応の環境整備
- ・衛生用品の資源化処理に向けた調査研究

脱炭素社会のまち

⑫資源・エネルギーの有効利用と実践

うちエコ診断とは

各家庭のライフスタイルや地域特性に応じたきめ細かい診断・アドバイスを実施することにより効果的に二酸化炭素排出量の削減・抑制を推進していくための制度です。

環境省認定の「うちエコ診断士」がご家庭のエネルギー対策・地球温暖化対策を診断し、ご家庭に合わせたオーダーメイドの対策を提案します。

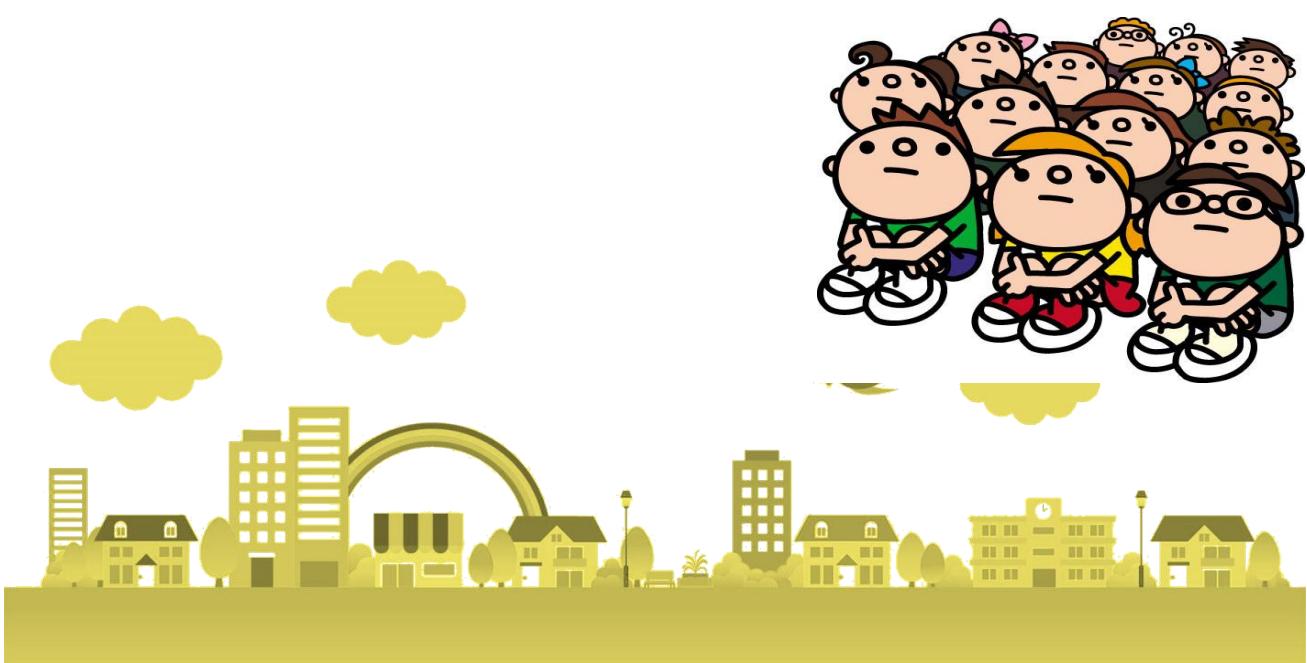


⑬気候変動への適応策の推進

近年、地球温暖化が進んでおり、日本を含む世界中の国々でその影響が現れています。市内においても、猛暑や豪雨などの異常気象の増加や、降雪量の増減といった気候変動の影響が現れており、気候変動への緩和策だけではなく、適応への対応も求められています。

◆令和3年度の具体的な取組み

- ・市民・団体への防火訓練実施の促し
- ・地域会館への発電機や暖房機等防災資機材の整備（整備した自主防災組織数：5団体）



活動・協働社会のまち

⑯市民、事業者、市の協働による 自主的な活動の推進

本市では、環境の取組みに意欲的な市民が集まった「ふらの市民環境会議」などが主体となり、講演会・施設見学会・ふらの環境展・フリーマーケットなどの様々な取組を実施しています。また、「太陽の里ふれあいの森」や「鳥沼公園」などを拠点とした環境活動の取組も進められています。

◆令和3年度の具体的な取組み

- ・農業体験受入 4校 39人
- ・富良野自然塾の体験受入 延べ2,077人
- ・富良野市観光ルート清掃ボランティアの実施 建設業協会企業他 17社57名

・ふらの市民環境会議の取組み

ふらの環境展の開催 参加団体8団体

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会、施設見学会、フリーマーケットは中止)

◆富良野市における環境に関する条例など

- | | | |
|-------------|---------------------|-------------|
| ・富良野市環境基本条例 | ・富良野市まちをきれいにする条例 | ・富良野市緑化推進条例 |
| ・富良野市景観条例 | ・富良野市自転車の放置防止に関する条例 | |

【ふらの市民環境会議の主な取り組み】

ふらの環境展（令和3年度は展示のみ）



活動・協働社会のまち

⑯幅広い世代への環境教育・ 環境学習の推進

市内の保育所・幼稚園や小学校では、農業体験や自然体験など環境教育を実施しています。また、富良野自然塾や森林学習プログラムなどで、環境学習や森林ガイドの育成などを行い、環境に関わる人材の育成を進めています。

**自然体験・環境学習事業の実施回数 9回
(目標値:R12年度 10回)**

(資料)生涯学習センターより



◆令和3年度の具体的な取組み

- ・小水力発電施設（白鳥川）での環境学習（市民講座1件 ※視察対応3件）
- ・森林学習サポーターの育成／認定サポーター21名、新規13名
 - 森林学習サポーターのスキルアップ研修会等の実施（3回）
 - 新規サポーター対象の認定研修の実施（4回）
- ・市内小中学校／環境学習実施への支援（8校9回）
- ・市内8校の小学校5年生または6年生による富良野自然塾のフィールドを活用した体験学習の実施（児童・教員 190名参加）
- ・市内保育所（※こども未来課把握分）
 - 「食の探検隊（野菜を知ろう）」「農業体験」「酪農視察」などの実施。
(計・4保育所8プログラム 園児のべ199名参加)
- ・市内幼稚園（※こども未来課把握分）
 - 「農業・収穫体験」「収穫後の調理体験」「富良野自然塾での自然散策体験」「緑峰高校との農業体験交流」などの実施
(計・4幼稚園8プログラム 園児のべ382名参加)
- ・富良野の自然に親しむ集いの開催 5回開催・のべ69名参加



活動・協働社会のまち

⑯環境情報の共有化

本市では、ホームページを用いて毎年発行している環境白書の公開をしているほか、環境イベントの広報・周知を行うなど、環境情報の発信に努めています。また、毎月発行・配布している「広報ふらの」の中で、リサイクル掲示板等の情報掲載を行っています。

◆令和3年度の具体的な取組み

- ・廃棄物の処理及びリサイクルの概要の作成
- ・ごみ分別アプリ・市HPによる情報発信
- ・環境審議会の開催
- ・毎月広報においてリサイクル掲示板、ごみQ&A等の掲載
- ・環境白書の作成

⑰広域的ネットワークの構築

本市は、基幹産業が農業であり、農村集落機能の維持・活性化の推進は重要な取組みの一つとなっています。

また、農村居住者と都市生活者の連携・交流を進めるため、市では移住者向けにワンストップ相談窓口を設置したり、ワーケーションによる関係人口の創出を図っています。

◆令和3年度の具体的な取組み

- ・中山間地域等直接支払交付金事業にて地域の魅力発信事業の実施 1件
- ・ワーケーション実証費用助成金事業の実施 活用 14件



令和4年度 富良野市環境白書
～ふらのの魅力を支える環境を守り・活かすまちをめざして～
令和5年（2023年）3月発行

発行 富良野市

編集 富良野市市民生活部環境課

〒076-8555 富良野市弥生町1番1号

TEL 0167-39-2308

FAX 0167-23-1313

E-mail:kankyou-ka@city.furano.hokkaido.jp